

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

フタル酸ジ-*i*-ヘプチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

PRO/N02/0402

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジ-*i*-ヘプチル
- 2)暴露方法： 半止水式(24時間後に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 48時間
- 5)連数： 1濃度区につき4連
- 6)生物数： 20頭/1濃度区(1連につき5頭で1濃度区20頭)
- 7)試験濃度： 対照区, 助剤対照区(4.73mg/L), 0.25mg/L, 0.45mg/L, 0.81mg/L, 1.46mg/L, 2.63mg/L および 4.73mg/L (公比 1.8)
- 8)試験液量： 100 mL
- 9)照明： 16時間明/8時間暗
- 10)試験水温： 20±1℃

結 果

1)24 時間暴露後の結果

24 時間半数遊泳阻害濃度(Eic50)=1.50mg/L (95%信頼区間 : 1.13mg/L~2.11mg/L)

(有意水準 5 %、統計的方法 : 吉岡義正教授 Probit 法)

2)48 時間暴露後の結果

48 時間半数遊泳阻害濃度(Eic50)=0.39mg/L (95%信頼区間 : 0.28mg/L~0.51mg/L)

最大無作用濃度(NOECi)=0.34mg/L

(有意水準 5 % : 統計的方法 : F & t-test, Yukums 統計ライブラリ-I 統計解析編)

100%阻害最低濃度=2.28mg/L

(上記濃度は、全て試験開始時と 24 時間後の実測濃度の時間加重平均値に基づく値)

但し、本試験における被験物質は約 7 種の異性体の混合物であり、そのうちフタル酸ジ-*i*-ヘプチルの含有量は 6.4%と推定される。